

地域と連携した バイオ燃料生産の展望

地域連携

シンポジウム

開催日時

2012年

3月13日

13:30～16:30

開催場所

茨城大学農学部
[100講義室]

参加費無料
登録不要



いま、わが国をはじめとする国際社会において、地球温暖化抑制を目指して、温室効果ガス等の削減のための諸施策が展開されています。しかしながら、必ずしも十分な成果があげられないまま、ことしは京都議定書の約束期間を終了します。一方、原子力発電所事故により電力供給状況が不安定ななか、再生可能エネルギーがふたたび注目されてきています。

本シンポジウムでは、再生可能エネルギーの1つであるバイオ燃料に着目し、地域における生産や活用のうごきとそれをとりにくく社会環境、将来展望について議論します。

プログラム

1 あいさつ

阿見町長 天田 富司男

茨城大学農学部長 太田 寛行

2 講演

① 茨城県におけるバイオマスの利活用について

茨城県農林水産部 西村 俊夫

② 阿見町の耕作放棄地対策について

阿見町 水間 宗

③ BDF化事業の推進：

菜の花エコネットワーク推進事業について

日立市 鈴木 一兄・大塚 寧

④ バイオ燃料生産に対するかすみがうら市の取組み

かすみがうら市 圓城寺 正道

⑤ バイオ燃料農業生産を基盤とした

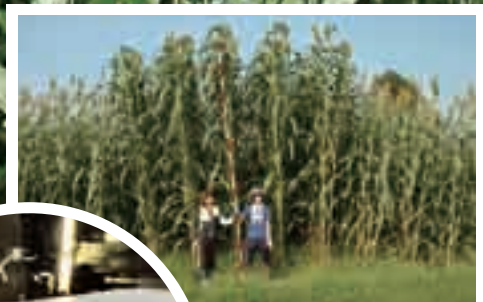
持続型地域社会モデル

茨城大学 久留主 泰朗

⑥ 世界初! スイートソルガムから紙の製造に成功

東邦特殊パルプ株式会社 原 普一

3 総合討論



成長したスイートソルガムと
それを原料として製造された紙

主催 ● 茨城大学

共催 ● 茨城県、日立市、かすみがうら市、阿見町、東邦特殊パルプ株式会社

お問い合わせ 茨城大学農学部 新田・塩津 TEL 029-888-8556